

## 男女共同参画推進についての学長提言（第2次）が発信されました

**沖** 永佳史学長より、男女共同参画に関する提言（第2次）が2020年4月1日に発信されました。本学は男女共同参画社会においてライフイベントと仕事の両立を推進し、女性が活躍できる雇用環境の整備およびキャリア形成支援を行うことによって、その能力を十分に発揮できるよう行動計画を策定し取り組んでおります。今回の学長提言は、前回（2017年4月）に発信された男女共同参画に関する提言から3年が経過したことを受け、各学部における取組状況を集約し、グッドプラクティスや改善すべき点などを明らかにした上で、今後取組をさらに発展させるための行動計画として男女共同参画推進委員会および上位組織である男女共同参画推進会議（ステアリングコミッティ）により協議の上で発信されたものです。「女性活躍推進法・次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画」とともに、これから3年にわたる男女共同参画方針を定めた提言の内容については、各キャンパス教授会を通じて教員の皆さんにお伝えするとともに、ホームページに掲載し学内外に広くお伝えしていきます。

### 男女共同参画推進についての提言(第2次)

各学部・学科・講座に、以下4項目の検討・実施を要請する。

#### 提言1【意識改革】

全教職員にとって働きやすい環境をめざして、各学部・学科のFD・SDで男女協働・女性登用の意識浸透を継続する。

#### 提言2【環境整備】

誰もが働き続けられる職場環境の実現に向けてメンターやコンシェルジュ教員の配置を継続するとともに、効果的な取組の実施を推奨する。

#### 提言3【教育・研究力向上】

学生対象のキャリア教育や外部資金獲得に向けた研究取組を継続するとともに、学部を越えた研究交流を推奨する。

#### 提言4【女性比率向上】

女性上位職（教授・准教授）比率の向上を目標として、各学部・学科・講座における男女比率の再認識と女性教員の育成強化および積極採用を奨励する。

## 日本医師会女性支援シンポジウムで多田弥生教授がご講演

**令** 和元年度「日本医師会女性支援担当者連絡会」（2019年12月8日開催）において本学男女共同参画推進委員の多田弥生先生（医学部皮膚科学講座主任教授）が女性医師支援をテーマに講演を行いました。多田先生は、女性医師が働き続けることのできる環境整備に向けた本学の具体的な取組についてや、上位職へのステップアップをめざし、モチベーションを高く持たせ続けるために講座で行っているさまざまな取組や工夫などについて紹介されました。多田先生のご講演の様子は、日本医師会ホームページからご覧いただけます。

<https://www.med.or.jp/joseishi/materials/renrakukai/>



## 活動報告

### 教職員対象セミナー「ハラスメントのない大学に向けて」を実施(2019年11月5日)

2020年6月の「パワハラ防止法(正式名称:改正労働施策総合推進法)」施行を踏まえ、「ハラスメントのない大学に向けて」と題したセミナーを板橋・八王子・宇都宮・福岡の4キャンパス同時配信で開催し、教職員211名が参加しました。講師には公益財団法人21世紀職業財団 客員講師の稲葉光弘氏をお迎えし、ハラスメント類型やその定義、特に学生・教員・医師・事務職員等異なる立場の人がともに学び仕事をする大学で起こりうるハラスメントについて、当事者・大学の法的責任や過去の判例をふまえてお話いただきました。その後、「他大学で起こったハラスメント事例」「学生から相談を受けた教職員の対応」「ハラスメント当事者にならないために」について学んだ後、少人数に分かれて2つの事例について話し合い、最後に4キャンパスをつないで質疑応答・意見交換を行いました。こうした取組を継続・発展させることで働きやすい環境の構築を進めてまいります。



### 「大学における SOGI/LGBT+」(みんなでカフェタイム)を開催(2019年11月8日)

11月のカフェタイムは「大学における SOGI/LGBT+」をテーマに、SOGI/LGBT+を理解するとともに、大学として・仲間として取組むべきことは何かを考えました。参加者11名が、各学部での対応や支援体制など情報を共有しながら、支援者(アライ)を学内に増やすために SOGI/LGBT+に関する勉強会・セミナーの定期的な開催など、だれもが心地よく学べる環境をめざし整えていく重要性を意識しました。



### 2019年度支援制度運用状況に関する報告

#### 研究支援員制度

家庭と両立しながら研究を継続するための支援である研究支援員制度について、2019年度は4～9月配置と10～3月配置の二期に分けて募集・選考を行い、22名への配置を行いました。今年度配置を希望される方はホームページをご確認ください。

研究支援員制度 配置人数内訳	
上期	10名 内訳: 医3、薬2、医療技術2、理工1、文1、教育1
下期	12名 内訳: 医3、薬2、医療技術2、理工1、文3、教育1

#### 保育支援制度(保育施設利用補助・ベビーシッター割引券発行)

子育てとの両立のための2つの支援制度①夜間・休日保育または病児・病後児施設を利用した際の利用料補助を行う「保育施設利用補助制度」(教員対象)、②ベビーシッター利用時の金額を割引する「ベビーシッター割引券発行事業」(教職員対象)について、今年度も多くの皆様にご利用いただきました。

保育施設利用補助制度	
利用者数	8名 (医3、薬2、文1、その他2)
利用回数(のべ)	37回

ベビーシッター割引券発行事業	
利用者数	6名 (医5、文1)
発行枚数(のべ)	168枚
利用枚数(のべ)※	89枚

## お知らせ

### 【学内】2020年度カフェタイムにお越しください

毎月8日はカフェの日。おしゃべりしながら研究者同士のネットワークを広げませんか(出入自由、12:15～13:15)。

【開催日】5月・6月・7月・9月・10月・12月1月・2月・3月

### 【学内】説明会を開催します

今年度のセンターの取組や本学支援制度について紹介する説明会を実施します。詳細は学内ポータルなどでお知らせ予定です。

## 編集後記

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う学校休止により、娘の弁当づくりという新たなタスクが加わった3月。絶望的な気持ちで始めたものの、毎日少しずつ手際もよくなり、メニューをあれこれ考えたりと、弁当づくりを楽しみはじめて自分気づきます(何事も挑戦することが大事ですね)。今回、ずらし勤務やテレワークなど柔軟な働き方に初めて挑戦した方も多いかと思いますが、「大変だったけど、あのおかげで日本の働き方改革が進んだ」とポジティブに振り返れるときが来たらいいな…と、眠い目をこすりながら弁当づくりにいそむ毎日です。(仲)

編集・発行

帝京大学 女性医師・研究者支援センター

〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 病院棟 6F  
TEL: 03-3964-8456 FAX: 03-3964-8457  
Mail: women@med.teikyo-u.ac.jp

